

2018年のねぐらの観察結果(速報)

今年もバメのねぐらの観察を継続的に実施することとした。4月12日を第1回調査とした。

調査日	天候	ねぐら入り羽数(推定)	ねぐら入りした場所	ねぐら入り終了時刻	観察者	状況
4月12日(木)	晴れ	100羽	不明(ひょうたん池近くか②)	18:30	福本(滝島)	今年初めて多摩川ひょうたん池周辺にツバメのねぐら入りの様子を観察に行った。17時45分に着いたが、鳥影は見えなかった。途中の河原で散発的にツバメを見る。18時0分~12分ごろ多摩大橋付近にツバメが数羽~10羽程度散発的に飛ぶのを観察(日没は18時12分)18時20分 50羽ぐらいの群れがひょうたん池の上空に飛来するが見失う。18時24分 100羽ぐらいが上空を旋回するが暗くて追跡困難。18時30分 大きな群れが頭上すれすれを上流方向に飛んだが、暗くて見失う。まさにこれまでのねぐら入り行動と同じ動きを観察できた。近くにねぐら入りしたのは間違いないが、場所の特定はできなかった。
4月20日(金)	晴れ	少数確認	ひょうたん池下流側?	18時40分頃	福本	4月20日に第2回目のツバメねぐら入り調査を行った。日没18時19分になるも2羽のツバメを見たのみでツバメは集まらず。18時25分;ひょうたん池北側の上空に10羽ほど飛来するもすぐに見えなくなる。18時32分;8羽ほどが池の上を飛ぶも見失う18時36分;5羽ほどが上流から池のすぐ上を低空で飛び、下流のヨシ原の方に飛ぶも見失う。今日は前回に比べツバメが集まってこず、集団ねぐら入りは見られなかった。
4月21日(土)	晴れ	約600羽	詳細不明。ひょうたん池より下流側と思われる	18:48頃(日没28分後)	渡辺仁、渡辺直美	18:25 ツバメ50羽程度がひょうたん池上空高く飛翔。下流側に飛び去る。18:30 その後しばらくは少数がいたりきたりする程度18:40 急に数が増え、ひょうたん池周辺低く飛び回る。その数500羽程度。ひょうたん池のヨシ原や水面の上も飛び回るが、おそらく下流側に飛び去る。18:43 姿も見えなくなり声も聞こえなくなる。おそらくねぐら入りしたと思われる。ひょうたん池には入っていない。おそらく下流側のさほど遠くない場所にねぐら入りしたと思われる。
4月22日(日)	晴れ	確認できず	—	—	渡辺仁、若狭、福本	18時12分 多摩大橋付近に30羽18時22分 20羽ぐらいがひょうたん池上空を飛ぶ18時34分 25羽ほど上空を飛ぶその後まとまった数のツバメは飛ばず、ねぐら入りは確認できなかった。日によってツバメの動きが異なることがわかった。
5月1日(火)	快晴	約1000羽	谷地川合流点付近の池⑤	18:50頃(日没23分後)	渡辺仁	谷地川側東光寺グラウンド側から観察しながらアプローチ。18:30 すでに谷地川付近を飛び回っているが、いたりきたりで広い範囲を飛翔している。18:40 釣り堀の上空を群れが飛翔。1000羽程度はいたものと思われる。18:50 大分暗くなった頃、釣り堀となっている池のあたりの奥を低く飛翔しているツバメが見えたのでそのあたりにねぐら入りしたと推測。谷地川を渡渉し、釣り堀の一番奥までアプローチして、ライトと双眼鏡でねぐら入りしたツバメを探すと、40メートル先のヤナギにねぐら入りしたツバメを確認できた。非常にみづらい場所である。
5月3日(木)日没;18:29	晴(雲多い)	約1,000羽	谷地川合流点付近の池(日野市栄町3丁目)⑤	18:49頃(日没20分後)	渡辺仁、福本健	18:10 上空50羽程度がまばらに行ったりきたり。18:29 さらに50羽が上空から飛翔する18:35 約200羽が集まってきて上空を飛翔。18:42 約1000個体が上空高くをウンカのように大群が飛翔する。18:45 高度低く大群で流れるように飛ぶ。18:48 ヤナギ林とヨシに止まり始める。18:49 止まり始めてからあっという間に飛翔するツバメが見えなくなる。ねぐら入りは終了したようだ。主にヤナギに、少数がヨシに入っているのが確認できる。(ねぐら入

						りした場所は左岸土手(立川市)付近まで日野市)
5月4日	曇り 一時雨	まとまったねぐら入り確認できず	合流部池⑤	18時50分	福本健	合流部の釣り池付近で観察しました。 18時ごろ雨がざっと降ったが、雨も上がり、18時38分ごろ上空に数百羽飛来するも、曇り空で見えなくなる。 18:50頃10羽ほどの群れが2度ねぐら入りしたがその後ねぐら入なし。 どこにねぐら入りしたか分からず。
5月5日(土)	晴れ	1000羽+ α	谷地川合流点付近の池⑤	18時53分	福本健 (池の上流側) 渡辺仁 (池の下流側)	最初のねぐら付近から上流側、下流側を観察 18:32 多摩大橋付近に少し集まる 18:35 上空に数10羽、その後少しずつ増える。 池の上流側に移動して観察 18:45 池の上空に1000羽以上集まる 18:55 ねぐら入り (渡辺さんが池のねぐら付近で観察) 脚立(高さ2m)の上からライトで観察すると、ヤナギ1本の低い位置に多くがねぐら入りして、100羽程度の目が反射して、クリスマスツリーのように。しかし北側にも多くが入っているようで全部が見えるわけではない。ヨシにも少しが入っているようだ。
5月6日(日)	曇り	1000羽+ α	谷地川合流点付近の池⑤	18時40分	若狭誠 福本健	18:40 上空を飛び回っていた1000羽を超すツバメが池の周辺を低空で旋回し、姿が見えなくなった。周辺にねぐら入りしたが、場所が特定できなかった。
5月15日	晴れ	1000羽- α	谷地川合流点付近の池⑤	18時50分	福本健	18:40 頭上に20羽くらい飛ぶ。その後も同じ程度の群れが飛来 18:45 少しずつ増えるも大きな塊にはならず 18:48 池の上を飛び回り、ねぐらに入る 柳に止まったツバメは確認出来るも、視界が悪く、足場も悪く、ねぐらの場所はつきりせず。ツバメの数もいつもより少なかったように思う
5月21日	薄曇り	50~100羽	ひょうたん池③	19時0分	福本健	ひょうたん池周辺のへのねぐら入りを調査した。 18:30 多摩大橋すぐ下流のヨシ原の上を10羽ほどが飛び回る 18:37 5羽ほどがひょうたん池を通過し下流へ 18:47 パラパラと下流へ飛んで行く 18:55 ひょうたん池すれすれを数十羽が飛び回る 19:00 群れが何度も池すれすれを飛び回る。どこにねぐら入りしたかはわからなかったが、ひょうたん池の下流側のヨシに入ったと想定される。 ひょうたん池にも規模が小さいが、ねぐらがあると判断される
5月28日	曇り	2~300羽程度	谷地川合流点付近の池⑤	19:03	福本健	18:49 上空に数十羽。少しずつ増える。 18:56 200羽程度になるがそれ以上増えない 19:00 急降下しねぐら入り 釣り人の話では、前日は沢山飛んできたが、今日は少ない。多い時には釣り竿に接触することもある。
5月29日	曇り	数十羽(100羽以下)	ひょうたん池③	19:05	若狭、福本	18:30 池の周辺をちらほら飛ぶ 18:48 はるか下流の方で数十羽上空を飛ぶのが見える。 18:55 4~5羽の群れがパラパラと池の水面近くを飛んで下流側に流れる 19:05 まで少数の群れが飛来し、下流側の木の後ろに消える。 大きな群れの飛来は確認できなかった。 一時1000羽以上いたツバメの群れはどこへいったのだろうか。 ツバメの動きが定まらないことから、当面様子を見るとして、次回調査は6月中旬に行う。
6月4日	晴れ	2000+ α	谷地川合流点付近の	19:10	福本健	18:47 上空に数十羽集まる 18:50 100羽くらいに増える 19:00 2000羽以上集まってくる。

			池⑤?			19:10 ねぐら入りするもオギが茂り視界が悪く、場所ははっきりせず。ヒナが加わった様で、数がぐんと増えた。
6月7日	晴れ	数百羽	谷地川合流点付近の池⑤	19:10	福本健	19:06 数百羽が上空に飛来するも大きな集団にならず 19:10 ⑤にねぐら入りするも、メインのねぐらは他にあると思われる。
6月13日	曇り	約2000羽	3年前のねぐら①の奥(多摩川本流近く)	19:10	若狭、福本	18:45 ひょうたん池で観察を始めるも、集まってきたツバメが下流の方に移動していくので、若狭がひょうたん池を観察し、福本が急遽下流に移動し観察 19:00 3年前のねぐら①の上空に1000羽ぐらいが集まる。その後数が増え2000羽ぐらいが上空を飛び回る。19:10にかけ、ねぐら入りする。場所は①と推定されるがはっきりせず。(ひょうたん池にはねぐら入りせず、下流に移動。) 次回は①周辺を観察しねぐらを突き止めたい。
6月22日	晴れ	約8000羽±α	ねぐら①～⑤の奥(多摩川本流近く)	19:20	若狭、菅野、福本	ねぐら①付近の盛り土で観察した。 18:50 ごろから集まりだす。 19:00～19:10 数が増え、数千羽が上空に飛来。 19:10～19:15 さらに数が増え、上空を旋回し、さらに頭上すれすれを飛ぶ。壮観である。ずっと奥のヨシ原すれすれをツバメが乱舞し、ねぐら入りが始まる。しかし、手前のオギや林が邪魔をしてねぐら入りしたツバメの確認が困難。昨年までのように、ねぐら入りしたツバメを見学者に見せることはできない。 しかし、上空を飛び回るツバメをじっくり見ることができ、迫力もあって、ねぐら入りを楽しめるかもしれない。
7月3日	晴れ	約2000～3000羽	ひょうたん池	19:20	若狭、福本	7月2日にねぐら①で調査したところ、ツバメが周辺に入らず、上流側のひょうたん池近くの上空で乱舞しているのが確認できたのでひょうたん池で調査した。 19:05 頃上空に2000～3000羽集まる。 19:15 頃ひょうたん池上を乱舞するもねぐら入りせず、下流側に流れる。どこに入ったかははっきりしなかったが、下流側のヨシ原に入ったことが推定される。
7月5日	曇り	約1万羽	ひょうたん池の右岸寄りの竹やぶ(排水路下流側)	19:12	福本(滝島)	ひょうたん池に来ず、右岸寄りの竹やぶに入ったとの滝島さんの情報で、観察した。 18:40 には水路横の土手上空をツバメが乱舞。 18:50 竹やぶすれすれに飛び交うツバメ多数 19:05 上空に約1万羽のツバメが飛び交う 19:12 大半のツバメが竹やぶにねぐら入り。多くのツバメがやぶの結構奥のササの枝に止まっている。土手の上から近いが、ササの奥で見にくい、光る目が観察される。頭上を飛び交う姿は迫力がある。
7月17日	晴れ	約1万羽	不明(ひょうたん池周辺と思われる)	19:22	若狭、菅野、武藤、渡辺敬明、福本、(滝島)	前日ねぐらが竹やぶの上流側から竹やぶの下流部分に移動したとの情報で、下流側で観察した。 19:00 頃上空に数千羽が飛来し、飛び回る。その後数は増える。 19:20 頃1万羽近くに増えるも、竹やぶには来ず、奥のひょうたん池方向及び下流側で飛び回る。 その後もはるか上空を数千羽が飛び回りねぐら入りしたが、どこにねぐら入りしたかわからなかった。
7月19日	晴れ	約1万羽+α	ひょうたん池下流③及びねぐら①	19:22分	若狭、古山、武藤、渡辺敬明、福本、(滝島)	ねぐら特定のため、土手、ひょうたん池下流、最初のねぐら①付近の3か所に分かれて観察した。その結果、19時20分過ぎに *1つの1万羽ほどのグループはひょうたん池下流100m付近のオギの茂みの奥のヨシ原に入ったが、オギを分け入っても草が深くツバメの姿は確認できなかった。 *もう1つの大きなグループは2015年のねぐら①付近に入った。10羽ぐらいのツバメの姿は確認できたようだ。 以上のように、2グループに分かれてねぐら入りしたことが判明した。
7月21日	晴れ	約1万5千羽+α	ねぐら①⑤	19時20分	渡辺仁、若狭、武藤、渡辺	ひょうたん池下流側とねぐら①付近に分かれて確認した。ひょうたん池下流に入ったツバメは、しばらくすると2つの大きな群れとなって、右岸寄りに飛び出し、いなくなった。ねぐら①⑤には多くのツバメがねぐら入りしたが、遠くて姿の確認は厳

					敬明、福本、(滝島)	<p>しかった。</p> <p>ねぐら入り①の確認後、渡辺仁さんが一通りライトスコープで確認した。その結果、ひょうたん池及びその周辺→ツバメなし、竹林→ツバメなしであった。昭島側からもライトスコープで確認してきました。日野側から見ると低くて死角になっている場所(①と⑤のあたり)に、多数のツバメがねぐら入りしているのを確認した。やはり飛んでいる方向からだけではねぐら入り場所を推定するのは難しいようだ。</p>
7月22日	晴れ	約1万5千羽 + α	ねぐら⑤	19時20分	粕谷、門口、関谷夫妻、中村啓二夫妻、武藤、渡辺敬明、渡辺仁、若狭、福本他	<p>カワセミ会観察会及びJCOMの取材があった。</p> <p>18時20分新旭橋集合、ねぐら①の前で観察。</p> <p>18時50分ごろから集まりだす。</p> <p>夕焼け空をツバメが舞う。</p> <p>19時20分 下流側の遠くにねぐら入り。ツバメの止まった姿は見えぬ。</p>
8月4日5日	晴れ	約15,000羽	ねぐら⑤	19時7分(日没23分後)	渡辺仁、(滝島、神山)	<p>【観察場所】釣堀の奥(土囊のダムより手前)</p> <p>【ねぐら入りした環境】ヨシ原及びそこに点在するヤナギ(面積は約0.5ヘクタール)</p> <p>18時50分上空5000羽以上に増えてくる。上空だけでなくヨシ原上を低く飛び始め、一部は止まりはじめるが、すぐに飛び立つ。</p> <p>18:55 さらに増え1万羽程度が上空を乱舞。</p> <p>19:00 かなりがヨシ等に止まり始めているがまだ上空を飛んでるものも数千羽いる。</p> <p>19:02 花火大会開始(昭島)の花火の音に驚いて一斉に飛び立つ。しかし花火が静かなると19時3分頃またほとんどがねぐら入りする</p> <p>19:04 まだ1000羽単位の群れが上空を飛翔しているが、続々と木の葉落としのようにねぐら入り</p> <p>19:07 ほぼ全てがねぐら入り。</p>
8月14日	晴れ	約1万5千羽 + α	ねぐら⑤	18時50分	福本(見学者10名以上)	<p>ねぐら①付近の盛り土で観察した。</p> <p>18時30分ごろから次々とツバメが集まってきて、いくつかの群れに分かれ、遠くのヨシ原の上も飛ぶ。上空にも飛来する。</p> <p>18時50分ごろねぐら入りする。</p>
8月15日	曇り	不明	ねぐら⑤	18時45分	若狭・福本	<p>釣り堀り池の奥でねぐら入りを観察するため池の手前の谷地川を渡ろうとするも、増水し流れも速く、長靴でも厳しく・危険のため、別ルートで渡るも先に道がなく、結局引き返し元のルートを渡る。渡辺仁さんが切り開いた背よりはるかに高いオギ原を抜けると目の前に広いヨシ原が続いていた。</p> <p>18時30分頃すでに池すれすれにツバメが飛び、上空にもツバメの大きな群れがいた。その中にハヤブサが飛び、5分以上狩り(鳥信)をしているようであったが、成功した様子はなかった。</p> <p>18時45分頃にはねぐら入りしたようだが、目の前のヨシ原にはツバメの姿はなかった。さらにオギ原を分け入り、池の先端近くに出るとヨシ原が広がっていた。柳の木の横のヨシ原の奥に10羽ほどが止まっているのが確認できた。しかし、奥の方は低くなっていて見えず、ねぐら入りしたツバメは確認できなかった。</p> <p>暗く帰りは道がわからなくなったり、川では長靴に水が入るなど厳しいもので、このルートへの一般の方の案内は無理と判断した。</p>
8月26日	晴れ	約5千羽	ねぐら⑤	18時35分	若狭・福本	<p>ねぐら①付近の盛り土で観察した。</p> <p>18時ごろからパラパラ飛来が始り、18時10分頃上流に30羽程度の群れ。</p> <p>18時15分ごろコウモリが多数飛び回る。20分頃ツバメの群れが飛来。</p> <p>18時30分ねぐらの上にツバメの大きな群れが旋回。コウモリも多数混じる。</p> <p>18時35分ねぐら入り</p> <p>ツバメのねぐら入りに大きな変化があった。ねぐら入りするツバメの数が5千羽程度と大きく減った。コウモリの数が大幅に増えて、ツバメの集団と思っていたら、コウモ</p>

						りの集団であったりした。9月初めにかけて、南に渡っていき、ねぐら入りも終わるでしょう。9月10日ごろ最後の調査を予定。
9月14日	曇り	約 2500羽	ねぐら⑤	18時10分	粕谷・若狭・渡辺敬明・菅野・武藤・福本	今年最後の観察の予定で17時20分新旭橋に集合しねぐら①に向かった。土手ではツバメが5羽ほど飛んでいた。日没の17時50分ごろにはあまりツバメを見かけなかった。その後上流付近から飛来が観察され、周辺からも飛来し、その数がどんどん増えた。18時ごろにはねぐら⑤の上空に大きな群れが観察され、頭上にも何度も飛来した。その数2~3000羽と予想をはるかに超えるツバメがまだ残っていた。ねぐら⑤にねぐら入りするのが観察された。
9月22日	晴れ	約 150羽	ねぐら⑤	17時55分	福本	ねぐら①付近で観察する 17時35分上流側のひょうたん池上空付近に約20羽が飛んでいるのを確認。頭上に飛来し、ねぐら⑤上空を飛ぶ 17時50分ごろ約150羽がねぐら⑤上空付近を飛び回る 17時55分ごろねぐら入りしたようで、姿が見えなくなった。 ほとんどのツバメが南の国に旅立ったようで、残るツバメはわずかになった。 4月から6か月間続けてきたねぐら入り調査も今年は今回をもって終了する。

